



発行所 三池炭鉱労働組合 大牟田市不知火町2 電話(53)3033番 (53)3034番 編集兼人 前川哲也 発行人 前川哲也 半年間1,200円 送料共

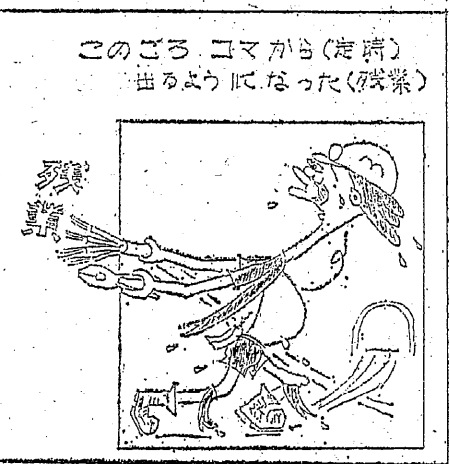
交流

No.60 1979 11-27 三池労組三川電気分会

増産へ進軍ラッパ

赤字からのリフレに「鳴り渡る」

三池炭鉱上期の増産は、今年上半期の実績を以て見れば、なかなか達成できなかった。...



炭業は「マダ」 三池炭鉱上期の増産は、今年上半期の実績を以て見れば、なかなか達成できなかった。...

ついに回答ひき出す

遺族の闘いはとまず終る

不満なものはあったが、三川の要求を認めにくく、座りこみなどを中心にする。...

裁判公判日程 大災害裁判公判 二月十三日 午後一時、福岡地裁。遺族の証言が続く。

遺族問題を取組む 各職場新聞が記事に 遺族闘争への職場の関心の度合の問題を共通的に取りあげたのが目を覚ますように、各職場新聞が注目され、今後の期待される。

炭労期未手当闘争を妥結

また低額回答押しつけ

口実は「赤字」、現場は増産

炭労の「五十四年度下期期末闘争」は、十一月二十六日、経営側が示した最終回答をうけられることをきめ、妥結した。

坑底に鳴りひびく 増産進軍ラッパ

三池炭鉱に見る現実

炭鉱経営側は、昭和五十四年度 たしてどうか。増産、増産の督促の下期期末手当で低額回答を押しつけ、現場はますます暗くなる。



三池炭鉱上期の減産分、十六万八千トンを取り返せ、と保安教育の席上、鉱長は高らかに進軍ラッパを吹き鳴らした。

人員増をはかれ どの職種も、人員不足である。電気も例外ではない。人員不足からくる終極的回收のおくれ、各片断の保線の乱れははなはだし

募集 新年文芸を募集 本紙ではただ今、新年文芸を募集しております。募集して下さる。みいけ、新年文芸を募集します。

炭労が創立 記念作品を 募集中です このほど、炭労中央から、創立二十周年を記念して、炭労のシンボルマークと小説文を募集するとの知らせがきました。

小論文 小説文の方は、今後の石炭産業の展望などを中心課題とす

